



岐阜県政記者クラブ加盟社各位

令和6年2月16日(金) 岐阜県発表資料			
担当課	担当係	担当者	電話番号
文化伝承課	伝統文化係	鷺見	内線 3145 直通 058-272-8754 FAX 058-278-2824

工芸作品の寄贈に対し、知事感謝状を贈呈します

このたび、七代加藤幸兵衛氏から県に対して、工芸作品を寄贈いただくことになりました。

つきましては、下記のとおり知事感謝状の贈呈を行いますので、お知らせします。
なお、県への寄贈は今回が初めてとなります。

記

- 1 日 時 令和6年2月22日(木) 14時30分～15時00分
- 2 場 所 県庁6階 第二応接室
- 3 感謝状受領者 陶芸家 七代 加藤 幸兵衛 氏
- 4 感謝状贈呈者 知事 古田 肇
- 5 寄贈作品 工芸作品「さんさいしじき三彩四耳器」(2023年作)
最大幅40.2cm×高さ25.2cm
作者：七代 加藤 幸兵衛 氏
※当日は作品を受領します。

【七代加藤幸兵衛氏について】

多治見市市之倉町で、開窯220年を迎える幸兵衛窯の当主であり、岐阜県重要無形文化財「三彩」の保持者(令和5年認定)である。人間の根源と本質をテーマに立体作品を制作し、日展、朝日陶芸展でそれぞれ最高賞を受賞するなど高い評価を受け、現代陶芸の分野に於いて活躍されている。現在は三彩をはじめ、ラスター彩などペルシャ陶の作品を発表しつづけている。

【三彩四耳器について】

三彩は、二種以上の色釉を素地の上に直接掛け分けた陶器(技法)であり、日本初期の多彩釉陶器制作技法として工芸史上重要な地位を占め、芸術的にも価値が高い。幸兵衛氏は、父であり、人間国宝に認定された故加藤卓男氏と共に、正倉院三彩の復元に尽力され、その技術を受け継がれた。本作「三彩四耳器」は、この技法を用いて制作され、器の肩部に4つの環(耳)がある陶器である。